



インド福祉村協会 (IWVS)

<http://iwvs.web.infoseek.co.jp>

現地 PM 加藤 伸也

2008年12月9日発行 第12号

JICA 草の根支援協力

「保健衛生と人材育成」事業 実施中

2007年9月～2010年8月

12月4-5日 インド・プネにてJICA・ワークショップに参加



主題は「マイクロファイナンス」です。生活困難者の人たちが、経済的に自立できるように支援する活動です。

その内容は多岐に渡り、農業、林業、都市のスラム街での活動が主なものです。日本米を作ったり、花・野菜栽培、そして、それらの育成方法、堆肥の作り方、使い方、そして、都市スラム街での経済的自立支援などです。

作ったものを市場に出し、資金を得ます。次への生産、活動資金や生活支援に使われます。



その他、フッ素被害の調査、その解決法や、私たちのような衛生活動等も行っていきます。インド全国からJICAと契約し活動している日本NGOの5団体、パネリストとしてインドNGOの2団体が参加し報告をしました。

自分たちで「小さな銀行」を創り、自ら資金管理、貸し出し等の帳簿管理もしています。その為の勉強も支援します。

また、いろいろなテキストブックも作り、支援もしています。



これらの活動が今後も根付いていくことを願い、日本の皆さんの支援をお願いしたいと思います。

5日は2つに別れ、インドNGOの活動を見学しました。私はNGOとして病院を造り活動しているところに参加しました。ハンセン病患者支援から三人の医師が活動を始め、今はエイズなども対象としています。資金は全部外国、国内からの援助やプロジェクト

資金援助を得て、そこから医療活動、給料などに使っているそうです。外來は昼、夜の2回診療をし、病棟(30床)も持っています。その他、救急外來、NICU(ベビー用集中治療室)、ICU手術室もありました。看護師は12人位はいたでしょうか。



また、看護学校も併設しており、1年半で卒業だそうです。生徒は30人ほどいました。かなりのカリキュラムで1年半で卒業ですから(私達は5時ごろに帰りましたが)まだ勉強していました。栄養の勉強もあるようで調理室もありました。施設も充実していました。日本のNGOが来るということで玄関床には色鮮やかな絵で飾ってありました。



インド国際空港で発砲事件???。5日朝のテレビで国際空港の外で発砲事件があったと報道していました。

どうもこれは、ガセネタだったようです。どちらにしても、インド国内はピリピリしていますね。

これで一段と、空港の出入りは厳しくなりそうです。やれやれです。

戦争を起こして何の得にもならないし、人命を失うだけの無益な行動です。話し合いを期待します。



【プネ情報】 クシナガルと違い南部ですから暖かい土地でした。

このインドに長期滞在をしていて、初めて「山」を見ました。いいですね、山は。大平原もいいですが、やはり、山があると気持ちが和みます。このプネは「ガネーシャ神」の信仰が強いのか、山の頂上に大きなガネーシャが建っていました。ガネーシャ神は「象」です。日本では「大黒様」に当たるそうです。そのせいか、



ガネーシャの絵には「ネズミ」が描いてありますね。アーナンダ病院でもネズミ捕りで捕まえたネズミは殺さず、離れた場所で逃がしていました。